

＊このスクーリングは、EB89とEB39の合同開講です。EB39の開講は、2025年度限りです。EB39のテキストで受講可能です。

専門教育科目

講義科目

科目名： 産業・組織心理学		科目コード	EB89
科目主査： 永山 祐輔 担当講師： 兼高 聖雄、永山 祐輔、堀内 勝夫、増野 洋子		単位	4
		配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク： ☒あり☐なし	個人ワーク： ☒あり☐なし
「人間」と「生産活動」というテーマを考える場合、個人とそれを取り巻く要因（他者・環境など）の「協働」という視点は切り離せないものではないでしょうか？本科目では「働く」こととつながりの深い「組織」「集団」「キャリア発達」「コミュニケーション」「リーダーシップ」「ストレス」などの概念について学習します。受講生が産業・組織心理学の知見に触れ、その理解を深めていく中で、個人レベルだけでなく、個人－組織・集団レベルの相互作用的視点を用いた考察・実践を行うための視座を構築することを目指します。			
履修の前提となる科目		☐あり☒なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項		スクーリングの受講にあたって、テキスト全体を読了していることが望ましいですが、まずはご自身の興味・関心があるテーマや用語が記載されている箇所から読了することを目指されるとよいと思います。	
テキスト	『改訂版 社会人のための産業・組織心理学入門』高橋 浩 他, 産業能率大学出版部, 最新版		

この科目の到達目標	①産業や組織に関する基本的概念を理解し、その理論を用いて現場における問題を適切に説明することができる。 ②モチベーションやリーダーシップなど職場における課題を産業や組織に関する枠組みで考察でき、解決の方向性を見出すことができる。
成績評価の方法	成績評価は授業態度、1日目の課題、最終試験などを通して総合的に実施します。評価のポイントについては、担当教員からアナウンスがあります。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	・興味を持った分野について文献を読んで、さらに理解を深めてください。 ・仕事の現場で体験した出来事が、どの概念や理論で説明できるかについて考察しましょう。 ・各自の興味や関心に応じて他の科目を履修し、発展的に学習してください。
事後学習の参考文献	『産業・組織心理学エッセンシャルズ【第4版】』田中 堅一郎（編）, ナカニシヤ出版, 2019年 『経営とワークライフに生かそう！産業・組織心理学 改訂版』山口 裕幸 他, 有斐閣, 2020年 『産業・組織カウンセリング実践の手引き 改訂版』三浦 由美子 他, 遠見書房, 2021年

スクーリング受講時に用意するもの
☒ テキスト ☒ 筆記用具 ☒ カメラ・マイクは必須となります。